

乳腺・内分泌外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

| | |
|---------------------------|---|
| 研究課題名 | トモシンセシスマンモグラフィを用いたステレオガイド下マンモトーム生検の有用性の検証 |
| 研究機関名 | 愛知医科大学病院 |
| 研究機関の長 | 病院長 藤原祥裕 |
| 担当科等 | 乳腺・内分泌外科 |
| 研究責任者 | (職名) 教授 (氏名) 中野 正吾 |
| 試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名 | 非該当 |
| 研究の意義・目的 | 乳房石灰化病変の生検を行う際にトモシンセシスマンモグラフィを利用することで検査効率向上を示すことを目的としています。 |
| 対象となる患者さん | 2013年8月から2018年12月までに乳腺腫瘍と診断された患者さん |
| 研究の方法 | 当院で施行した、ステレオガイド下マンモトーム生検45症例と、トモシンセシスガイド下マンモトーム生検86例の2群において、検査時間や合併症の有無などにつき比較検討します。研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手・閲覧を希望する場合はお問い合わせください。 |
| 研究期間 | 倫理審査承認日 ~ 2024年12月31日 |
| 研究に用いる試料・情報 | 試料：なし 情報：マンモグラフィ、病理レポート、診療録 |
| 外部への試料・情報の提供 | なし |
| 試料・情報の利用又は提供を希望しない場合 | 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年12月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。 |
| その他 | |
| 問い合わせ先 | 愛知医科大学 医学部外科講座 担当者：(職名) 医員助教 (氏名) 井戸 美来 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 23500) |